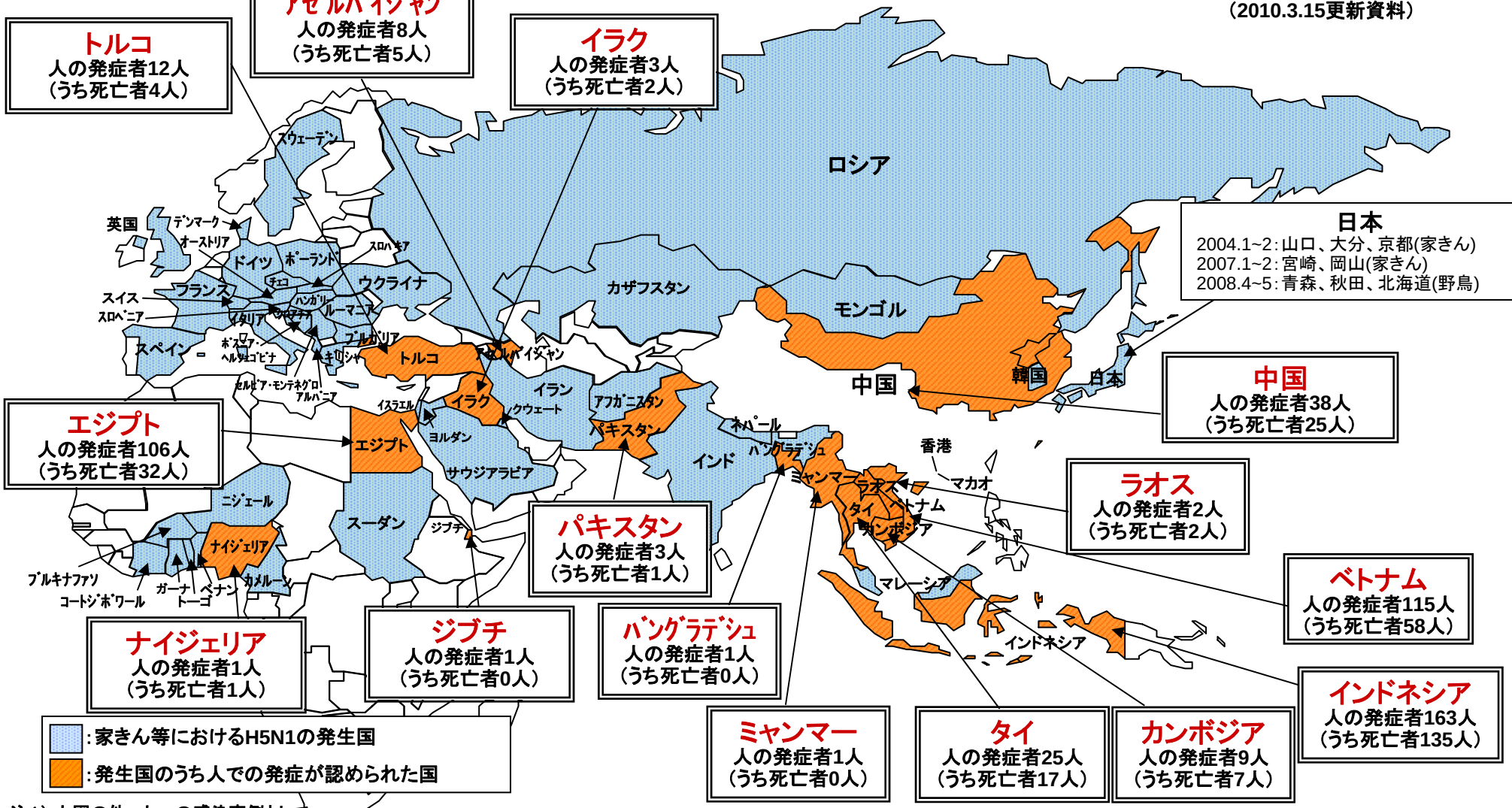
鳥インフルエンザ（H5N1）発生国及び人での発症事例（2003年11月以降）

（WHO・各国政府の正式な公表に基づく）

2010年3月12日現在
（2010.3.15更新資料）



トルコ
人の発症者12人
（うち死亡者4人）

アゼルバイジャン
人の発症者8人
（うち死亡者5人）

イラク
人の発症者3人
（うち死亡者2人）

日本
2004.1~2：山口、大分、京都(家きん)
2007.1~2：宮崎、岡山(家きん)
2008.4~5：青森、秋田、北海道(野鳥)

中国
人の発症者38人
（うち死亡者25人）

エジプト
人の発症者106人
（うち死亡者32人）

ラオス
人の発症者2人
（うち死亡者2人）

パキスタン
人の発症者3人
（うち死亡者1人）

ベトナム
人の発症者115人
（うち死亡者58人）

ナイジェリア
人の発症者1人
（うち死亡者1人）

ジブチ
人の発症者1人
（うち死亡者0人）

バングラデシュ
人の発症者1人
（うち死亡者0人）

インドネシア
人の発症者163人
（うち死亡者135人）

ミャンマー
人の発症者1人
（うち死亡者0人）

タイ
人の発症者25人
（うち死亡者17人）

カンボジア
人の発症者9人
（うち死亡者7人）

：家きん等におけるH5N1の発生国
：発生国のうち人での発症が認められた国

注1）上図の他、人への感染事例として
1997年香港（H5N1　18名感染、6人死亡）
1999年香港（H9N2　2名感染、死亡なし）
2003年香港（ H5N1　2名感染、1人死亡）
2003年オランダ（ H7N7　89名感染、1人死亡）
2004年カナダ（ H7N3　2名感染、死亡なし）
2007年英国（H7N2　4名感染、死亡なし）等　がある。

注2）上図のうち、モンゴル、イタリア、ブルガリア、スロベニア、ギリシャ、オーストリア、スロバキア、スイス、スウェーデン、ボスニアヘルツェゴビナ、スペインは野鳥からの検出。

参考：WHOの確認している発症者数は計488人(うち死亡289人)。

出典：WHO・OIEホームページ